

# 河北新報

2021年（令和3年）3月27日（土）

## J-REIT 物件取得額東北で半減 20年コロナ下様子見続く

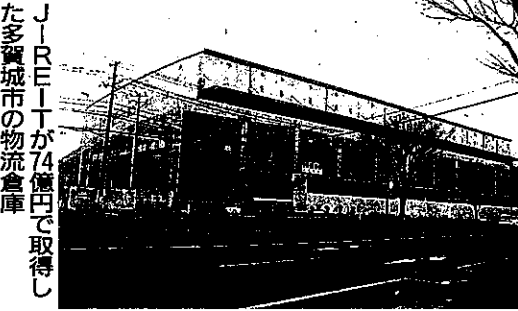
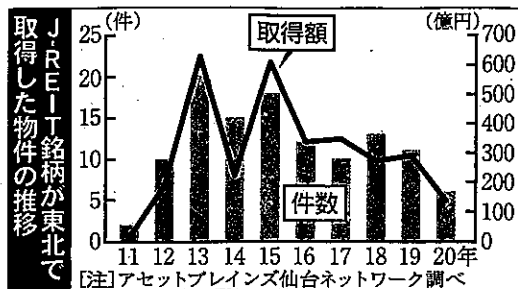
不動産投資信託「J-REIT（リート）」が2020年に取得した東北の物件数は6件、142億3600万円だったが、金融と不動産の専門家でつく

るアセットブレインズ仙台ネットワーク（仙台市）のまとめで分かった。取得額は前年比50・9%減と半減し、新型コロナウイルス下で様子見状態が続いた。

J-REITの全国の実績は、前年比2・0%減の1兆3932億円と横ばい。首都圏の需要が底堅く、地方との格差が表れた。アセットブレインズの佐々木正之事務局長は「昨春の緊急事態宣言を受け、投資マインドが一度リセットされた。秋には東京の物件から動いたが、東北の優先順位は低い」と分析する。

東北の取得件数と総額の推移はグラフの通り。県別は宮城5件132億6600万円、秋田1件9億7000万円だった。用途別は商業2件、住宅、オフィス、物流が各1件。

最高額は三菱地所物流リート投資法人（東京）が73億8800万円を取得した貸倉庫「MJロジパーク仙台1」（多賀城市）。コロナ下で通信販売が伸び、物流拠点の需要が高かった。J-REITが売却した東北の物件は6件、124億3900万円。住宅3件、オフィス2件、物流1件。4月の火災で焼失したプロロジスパーク岩沼1（岩沼市）が最高額の56億7000万円だった。



J-REITが74億円で取得した多賀城市の物流倉庫

J-REITを含む仙台圏の事業用不動産の取引額は前年比42・6%減の616億6200万円。うち、コロナ禍の影響が大きい商業施設は9割減った。J-REITは、東京証券取引所の上場銘柄。20年末で62銘柄ある。不動産会

社や商社による投資法人が賃料などの収益を投資家への利回りに充てる。初上場した01年から累計物件数は4291件、資産総額は20兆2300億円に上る。東北は134件、3285億円にとまる。